

産業保健スタッフ用：危機事象に備えるための事前準備アクションチェックリスト

＜本アクションチェックリストの使い方＞

本アクションチェックリストは、「危機事象が発生したときの産業保健ニーズ」に基づいて作成されています。以下の流れに沿って、ご利用ください。尚、使用者は、産業保健スタッフや衛生管理者、職場の管理者などを想定しています

◎対象職場ごとに、それぞれのアクション（対策）がその職場で必要かどうか選びます

「提案しない」：すでに対策が十分実施されている、または自社は該当しない場合

「提案する」：新たな対策が必要か、または強化が必要である場合

◎「提案する」が多い場合、優先的に取り組む事項を決めます。「提案する」にチェックをした項目を確認して、その中で特に重要と思われるものを3～4つ選んで「優先」にチェックを付けます

◎「コメント」には現状のよい点や改善提案を出来るだけ具体的に書きとめます

◎管理者、衛生管理者、産業医等のできるだけ複数の職場の関係者が、チェック結果を利用して改善策について話し合います

◎本アクションチェックリストは職場の問題点や課題を抜け落ちなく隅々までチェックするためのものではありません

		この対策を提案しますか？			
対策項目	アクションチェックリスト ☆対策がすでに実施されている、自社で該当しない→「いいえ」 ☆記載されている対策を取り上げたい →「はい」 ☆今年度、重点的に実施したい →「優先」	いいえ	はい	優先	コメント
(1) 災害発生後の組織体制・仕組みづくり	1 組織に起こりうる危機事象を想定し、危機管理計画や対応マニュアルを策定し、定期的に更新します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2 危機事象発生時に、設置される危機管理対策本部の構成要員、連絡体制の整備、意思決定の手順、連絡や記録担当等の役割を明確化します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3 組織のBCPにおいて、産業保健スタッフの役割を明確化します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4 危機事象発生時に、人的被害を含む現場の被災状況に関する情報を収集し、健康障害防止対策に関する助言ができるよう、危機管理対策本部メンバーに産業医が入っている、または対策本部メンバーを通して危機事象のコミュニケーションが取ることができる体制を整備します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	5 危機事象発生に伴い、通常の勤務管理システムが機能しなくなった際の労務管理方法を準備します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	6 危機事象発生後に化学物質による中毒などの健康障害が発生しないよう、組織内の有害化学物質に関するハザードマップやSDS、保護具、復旧作業時の注意事項などを準備します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	7 危機事象発生後に感染症が発生・蔓延しないような保護具や消毒剤の準備などの感染症対策を定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	8 危機事象発生時に、他組織からの応援者や協力企業などに対して、安全衛生教育を行うことを定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	9 危機事象発生時に、産業保健スタッフと危機管理対策本部、現場及び他部署と情報を共有し必要な助言や情報提供ができる設備（掲示板やイントラネット、携帯、無線など）を準備します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	10 危機事象発生時に健康相談窓口・連絡先を従業員（必要に応じて地域住民）に周知する仕組みや情報発信に活用できるツール（掲示板やイントラネット、HP、携帯、無線など）を定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	11 危機事象発生時に周辺の病院の稼働状況に関する情報を入手する方法を定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	12 危機事象発生時に自社に必要な物品や物を管理する仕組みについて、定期的な見直しを実施します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(2) 産業保健スタッフの体制・仕組みづくり	13 産業保健スタッフ内における、危機対応時の役割や意思決定の手順を明確化し、定期的に更新します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	14 産業医が不在でも緊急対応期の対応が実施できるよう、組織全体及び産業保健スタッフ内で体制や対応方法を定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	15 産業医等の応援要員が必要となった際の連携体制について、本社（あるいは指示元となる指令機関）と話し合い、仕組みを定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	16 危機事象発生時の産業保健スタッフ間の連絡網を整備し、定期的に更新します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	17 産業保健スタッフの執務場所や診療所が被災した際に、二次災害予防のための清掃や修復に必要な保護具や備品の準備、産業保健活動を継続するための代替となる安全な場所の確保などを定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	18 危機事象発生時の緊急医療対応が行うことができるように産業保健スタッフの役割を定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	19 危機事象発生時における医薬品の提供方法及在庫管理（不足時の補充、調達ルート等）を定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	20 危機事象発生時に組織内で死亡者が出たときの対応について定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	21 地域を巻き込む大規模な危機事象の際の、地域の中での産業医自身や産業看護職自身が医療資源として求められている可能性を確認し、役割を定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(3) シナリオ作成・訓練	22 組織において想定した危機事象にもついた訓練のシナリオを作成し、毎年1回以上訓練を実施するとともに、改善事項を次の訓練計画に盛り込みます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	23 訓練のシナリオ作成や訓練計画の立案に、産業保健スタッフが関与します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	24 産業保健スタッフ内での対応に関する訓練のシナリオを作成し、毎年1回以上訓練を実施します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(4) 健康障害ハイリスクグループの想定とアプローチ方法の検討	25 危機事象発生を契機として新たに健康障害が生じた従業員がいないか、質問紙調査や面談の実施など全体スクリーニングができる仕組みや要フォロー者へのフォロー方法などを定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	26 危機事象発生時に心身ともに健康障害が発生しやすい従業員（透析実施者、インスリン使用者、高血圧や糖尿病などの慢性疾患、移動や避難に困難を伴う可能性のある者、メンタルヘルス不調者など）を事前にリストアップし、定期的に更新します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	27 危機事象発生を契機として新たに健康障害が発生しやすい従業員への健康状態の確認やメンタルヘルスケアの方法、産業保健スタッフによるフォロー開始までの手順などを定めます	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	28 組織として被災者家族への支援体制や対応窓口、産業保健スタッフとの連携などについて仕組みを定め、産業保健スタッフは被災者家族へのケアに必要な姿勢やスキルを習得します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(5) 外部資源とのネットワーク構築	29 人的資源（精神科やカウンセラー、産業看護職など）の確保ルートや、EAPについて連携できる機関を選定します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	30 危機事象発生時に対応が可能な周辺医療機関とその対応可能範囲（重症度別、診療科など）を確認し、選定します	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	